# 学校環境を生かした環境教育活動の実践

壬生北小学校　　室井　妙子
宇都宮工業高校　正会員　○粂川　高徳

## １．はじめに　（現代の子どもに環境教育を行う必要性）

地球温暖化についての危機的状況や自然環境の破壊等,現代の環境に関する大きな課題は社会科や国語科,理科等の学校で学習しているだけでなく，テレビや新聞等で情報を知っている児童は多い．しかし，それが本当に子ども達にとって身近な問題となっているか，という点に関しては，首を傾けざるを得ない．知識だけで知る学習だけではなく，自ら主体的に「環境」について体験しながら学習を進めていくことは，子ども達にとって将来の自分の生活する地球について思いをはせることになり，自分は何をなすべきかを自然と体感できる人間に成長していってくれるのではないかと考える．

## ２．本校におけるこれまでの取り組み経緯（壬生北小学校における環境教育活動の推進の実情）

本校は平成８年度より「エコクラブ」に加入し，学校林を活動拠点に，自然愛護活動や地域の環境美化活動，ペットボトルやアルミ缶のリサイクル活動を推進してきた．平成１３年度より，全校児童がエコクラブ員として，学年の発達レベルに合わせた活動へと広め，全校規模で活動を進めてきた．その間にＰＴＡと協同で「親子ふれあい活動」として親子で環境保護の看板を作り，それを学区の各所に立て，地域への環境美化の協力を求める活動も行った．また，定期的に地域の美化活動を実践し，学区内の平地林に不法投棄されていた各種の大型ゴミを片づけ，ゴミの不法投棄の実情を町役場に報告し回収の協力を求めた．

平成１５年度より,「省エネルギー教育推進モデル校」として３年間の指定を受け，主に５・６年児童が中心となり，学校全体で取り組める活動を実践している．活動内容として，節電・節水・リサイクルが中心で，節電に関しては，エコワットを活用しての電力の消費調査，学校の全電灯スイッチにシールを貼り，無駄な照明を切る活動．使っていないコンセントを抜き，待機電力の無駄をなくす活動．家庭用省エネナビの活用推進．節電に関しての広報活動．家庭における節電の調査．節水に関しては，学校の水道使用量の調査．節水ゴマの設置．校内で各自が使用する水の量の計測と，節水の呼びかけ，広報活動．リサイクルに関して

アルミ缶・ペットボトル
の回収活動

不法投棄ゴミの回収

林のゴミ拾い

水道設備業者指導のもと
節水ゴマ取り付け

樹木の葉で作った堆肥
を花壇に入れて花植え

キーワード：環境教育，総合的学習の時間、省エネ、体験活動、保護者連携，地球温暖化防止活動
連絡先　〒 321-0207　栃木県下都賀郡壬生町北小林 190　TEl　0282-86-0064　FAX　0282-86-1058

は，各種用紙別のリサイクル，資源用紙としての回収協力，ペットボトル回収，アルミ缶回収等があげられる．

**３．地域性・学校特性を生かした本校の取り組み**

本校は，従来より学校全体で２つの大きな学習テーマを掲げて学習を進めてきていた．（１・３・５年の学年テーマは「環境」であり，２・４・６年の学年テーマは「福祉」である．）

これらの学習については，学年の発達段階，児童の実態，地域の実情に即して学習を進めているわけであるが，平成１５年度からは１・２・３・４年はエコクラブ員として環境を守る活動を実践し，５・６年は「総合的な学習の時間」を活用して環境を考える学習「守ろう！ぼくらの緑の地球」の題材名で，主に省エネルギー活動の学習を深めていっている．省エネルギー学習の内容としては，①講師を招聘しての地球環境の変化・地球温暖化の学習 ②体験学習活動として発電所や電力関連施設の見学③地球温暖化防止のためには，自分たちは何が出来るか？等，各自の学習をテーマ別にわかれてまとめ，他学年への啓発活動を行った．

このような学年別の学習以外に３・４・５・６年の児童が縦割り班（なかよし活動と呼んでいる）で，住んでいる地域ごとにテーマを決め，地域の環境について調べる学習も行った．住居地域に沼がある児童達は，協力して沼の周辺に生息している昆虫や植物等の調査をし，保護者も集めて報告会も行った．その学習の際自分たちの親の世代，祖父母の世代と生態系が違ってきていることにも気がついていた．また，蛍を自分たちの住んでいる地域に再び蘇らせようという試みや，昔から比べ川の汚染が進んできていることを地域の老人から話しを聞き，川の上流 を調べる活動を行ったグループもあった．

平成１６年度には，より広く省エネルギーについて考えてもらう機会として，親子ふれあいエコ活動として５つのブースに分かれ，全校児童と保護者で体験活動を行い盛況であった．内容は①給食の廃油を使った石けんづくり②ゴミを出さないエコロジカルクッキング③洗剤を使わなくても洗えるアクリルタワシづくり④紙の有効活用，広告用紙でも作れるブローチづくり⑤牛乳パック活用便利イスづくり．

川の汚染状況調べ

下校班ごとの親子ｸﾘｰﾝ活動

廃油からの石けんづくり

地域の環境を知る活動

**４． まとめ**

今後の学習の方向性として，児童とともに学校全体で取り組んでいる「環境教育学習」については，地域へと広げているとは言え，まだ保護者への広がりまでである．これを本校の保護者だけでなく，本当の意味で地域へ広げていくことが 今後の課題となっている．

現在実践している学習が子ども達の心に残り，身に付き，小学生にもできる節電・節水・リサイクルをはじめ，自然を大切にする各種の活動や体験が，地球を支える一人の地球人になって将来の地球を守ってくれて行く事であると確信したい．